

2024 MAIN STAGE 兵庫ジュニアオープン選手権

兵庫県芦屋市 兵庫県立海洋体育館 (芦屋マリンセンター)

2024年4月13日(土)~4月14日(日)

帆走指示書

SIの規則での【DP】の表記は、その規則の違反に対するペナルティーを、プロテスト委員会の裁量により失格より軽減することができることを意味する。

1 規則

- 1.1 2021-2024 セーリング競技規則に定義された規則を適用する。
- 1.2 RRS 61.1(a)に「抗議しようとする艇は、フィニッシュ・ラインに位置するレース委員会艇に被抗議艇を伝えなければならない。」を追加する。

2 競技者への通告

競技者への通告は公式掲示板のかわりとして大会 LINE オープンチャットに掲示する。

3 帆走指示書の変更

帆走指示書の変更は、その日の最初のレースのスタート予定時刻の60分前までに掲示する。

ただし、レース日程の変更は前日の17:30までに掲示する。

4 陸上で発する信号

- 4.1 陸上で発する信号は艇庫2階の陸上本部の窓に設置されたポールに掲揚する。
- 4.2 【DP】音響信号1声と共に掲揚されるD旗は「予告信号はD旗及びクラス旗の掲揚後30分以降に発せられる。」ことを意味する。艇はこの信号が発せられるまで、出艇をしてはならない。

5 日程

5.1 4月13日(土)

- | | |
|-------|-----------------|
| 8:45 | 艇搬入(開門) |
| 9:00 | 受付 |
| 9:45 | コーチブリーフィング |
| 11:45 | Aクラス 第1レースの予告信号 |
| 11:55 | Bクラス 第1レースの予告信号 |
- 引き続きレースを行う。

4月14日(日)

- | | |
|-------|------------------|
| 8:30 | 開門 |
| 8:55 | コーチブリーフィング |
| 10:25 | Aクラス 最初のレースの予告信号 |
| 10:35 | Bクラス 最初のレースの予告信号 |
- 引き続きレースを行う。
- 16:30 閉会式(予定)

- 5.2 各クラスともに1日に行われるレースは5レースまでとする。
- 5.3 1つのレース又は一連のレースを行う場合、レースが間もなく行われることを艇に注意喚起するために、予告信号を発する5分以前に音響信号1声と共にオレンジ旗が掲揚される。
- 5.4 4月14日(日)は13:30以降に予告信号を発しない。

6 クラス旗

- 6.1 Aクラスは、「白地に黒色OP旗」とする。
- 6.2 Bクラスは、「赤地に白色OP旗」とする。
- 6.3 Bクラスの参加艇はセールのトップにレース委員会の配布するリボンをつけなければならない。

7 レースエリア

添付図1に示す。

8 コース

- 8.1 図Aは、通過するマークの順序、それぞれのマークをどちら側に見て通過するかを含むコースを示す。
- 8.2 予告信号以前に、レース委員会の信号艇に最初のレグのおおよそのコンパス方位を掲示する。

9 マーク

- 9.1 Aクラスの1、2、3マークはピンク色の円筒形ブイとする。
- 9.2 スタート・マークは、スタート・ラインのスターボード・エンドにあるレース委員会艇とポート・エンドにあるレース委員会艇とする。
- 9.3 Aクラスのフィニッシュ・マークは、フィニッシュ・ラインのスターボード・エンドにあるレース委員会艇とポート・エンドにある緑色の円錐形ブイとする。
- 9.4 Bクラスの風上マークは、黄色の円筒形ブイとする。
- 9.5 Bクラスのフィニッシュ・マークは、フィニッシュ・ラインのポート・エンドにあるレース委員会艇とスターボード・エンドにある緑色の円錐形ブイとする。

10 スタート

- 10.1 スタート・ラインは、スタート・マーク上でオレンジ旗を掲揚しているポールのコース側の間とする。
- 10.2 【DP】他のクラスのスタート手順の間、予告信号が発せられていないクラスの艇は、スタート・エリアから離れていなければならない。
- 10.3 スタート信号後4分以内にスタートしない艇は、審問なしに「スタートしなかった(DNS)」と記録される。これはRRS A4、A5を変更している。

11 コースの次のレグの変更

コースの次のレグを変更するために、レース委員会は元のマーク(又はフィニッシュ・ライン)を新しい位置に移動する。

12 フィニッシュ

- 12.1 Aクラスのフィニッシュ・ラインは、スターボード・エンドにあるフィニッシュ・マーク上で青色旗を掲揚しているポールとポート・エンドにあるフィニッシュ・マークのコース側の間とする。
- 12.2 Bクラスのフィニッシュ・ラインは、ポート・エンドにあるフィニッシュ・マーク上で青色旗を掲揚しているポールとスターボード・エンドにあるフィニッシュ・マークの間のコース側とする。

13 ペナルティー方式

- 13.1 RRS 付則Pを適用する。

13.2 【DP】 RRS44.1 に基づきペナルティーを履行した艇は、抗議締切時間までに受付で入手できる回転報告書に記入し提出しなければならない。

14 タイム・リミットと目標時間

14.1 タイム・リミットとターゲットタイムは次の通りとする。

タイム・リミット	マーク1のタイム・リミット	フィニッシュ・ウィンドウ	ターゲットタイム
90分	30分	15分	50分

14.2 マーク1のタイム・リミット内に1艇もマーク1を通過しそうにない場合には、レース委員会はそのレースを中止することができる。これは RRS 32.1 を変更している。

14.3 ターゲットタイムどおりとならなくても救済の根拠とはならない。これは RRS 62.1(a)を変更している。

14.4 RRS 30.3、30.4 に違反しないでスタートした最初の艇がコースを帆走してフィニッシュ後、15分以内にフィニッシュしない艇は審問なしに「フィニッシュしなかった (DNF)」と記録される。

これは RRS 35、A5.1、A5.2 を変更している。

15 抗議と救済要求

15.1 抗議しようとする艇は、レース委員会に通知するために、フィニッシュ・ラインに位置するレース委員会艇に近づき被抗議艇のセール番号を口頭で伝えなければならない。なお、フィニッシュ後レース委員会に対してその意思を伝えるまでの間に支援艇の乗員といかなる接触もしてはならない。これは RRS 61.1(a)に追加している。

15.2 抗議書は受付で入手できる。抗議、救済要求または審問再開の要求は、適切な時間内に提出されなければならない。

15.3 それぞれのクラスに対して抗議締切時間は、その日の最終レースで最終艇がフィニッシュした時刻、またはレース委員会が「本日はこれ以上レースを行わない」と信号を発した時刻のいずれか遅い方の60分後とし、その時刻を公式掲示板に掲示する。

15.4 審問の当事者か、証人として名前があげられて審問に関わる選手に通告するために、抗議締切時刻から15分以内に通告を掲示する。審問は公式掲示板に掲示された時刻に艇庫2階の陸上本部にて始められる。

15.5 レース委員会、またはプロテスト委員会による抗議の通告を RRS 61.1(b)に基づき伝えるために公式掲示板に掲示する。

15.6 13項に基づき RRS 42 に対するペナルティーを課せられた艇のリストを公式掲示板に掲示する。

16 得点

16.1 本大会は最大7レースとし、大会が成立するためには1レースの完了を必要とする。

16.2 4レース未満しか完了しなかった場合、艇のシリーズの得点は全レース得点の合計とする。

16.3 4レース以上を完了した場合、艇のシリーズ得点は最も悪い得点を除外したレースの得点の合計とする。

16.4 掲示されたレース又はシリーズの成績の中に間違いがあるとして訂正を要請する場合は、艇はレース委員会事務局に用意されている得点照会要請書にて訂正を要請しなければならない。

17 安全規定

17.1 【DP】 出艇申告、帰着申告はトラッキングシステムの端末を活用したタリー方式を用いる。

17.2 【DP】 出艇する艇は、出艇前までに受付にてトラッキングシステムの端末を受け取りチェックアウトしなければならない。

17.3 【DP】 各艇は、その日の最終レース後の抗議締切時刻までに、受付にトラッキングシステムの端末を返却しチェックインしなければならない。

- 17.4 トラッキングシステムより得られた情報は、艇からの抗議または救済の要求の根拠とはならない。
- 17.5 【DP】 レースからリタイアする艇は、レース海面から離れる前に可能であればピンク旗を掲げているレース委員会艇に伝えなければならない。また、受付にある申告書にてリタイアの申告をしなければならない。
- 17.6 救助を必要とする選手は、笛を吹くかパドルまたは片手を振って、知らせなければならない。
- 17.7 レース委員会は救助を要すると判断した場合には、選手の意向に関わらず救助することができる。これは救済要求の根拠にはならない。RRS 62.1(a)を変更している。

18 装備と計測【DP】

艇または装備は、RRS 78 に準じ規則に従っていることを確認するためにいつでも検査されることがある。

19 広告【DP】

艇は主催団体から大会広告を支給された場合、World Sailing 規定 20 に従い艇に広告を表示しなければならない。

20 支援艇【DP】

- 20.1 支援艇は、準備信号からレースが終了するまで、またはレース委員会がレースの延期、ゼネラルリコールもしくは中止の信号を発するまでコース・エリアから 100m以上離れていなければならない。
- 20.2 支援艇に対する救助活動要請は、レース委員会艇に「数字旗 8」を掲揚して通告する。この要請があった場合、支援艇はコース・エリアに入ることができる。ただし、支援艇は救助活動を除き、レース艇に援助を与えてはならない。
- 20.3 支援艇は、受付にて出艇・帰着申告を行わなければならない。
- 20.4 支援艇はレスキュー活動に備えて乗員は 2 名以上とし、救助活動時を除き、定員の 1/2 以下の乗艇員数で運行すること。小数点以下は切り上げとします。

21 ごみの処分【DP】

ごみは、支援艇・レース委員会艇・プロテスト委員会艇に渡してもよい。

22 賞

- | | | | |
|------|------------|---------|---------|
| 22.1 | OP 級 A クラス | 優勝 | 持ち回りカップ |
| | | 1 位～3 位 | 盾 賞状 副賞 |
| | | 4 位～6 位 | 賞状 副賞 |
| 22.2 | 女子 | 優勝 | 賞状 副賞 |
| 22.3 | 小学生 | 優勝 | 賞状 副賞 |
| 22.4 | OP 級 B クラス | 1 位～3 位 | 盾 賞状 副賞 |
| | | 4 位～6 位 | 賞状 副賞 |
| 22.5 | 神戸新聞社賞 | A クラス優勝 | 盾 賞状 |
| 22.6 | FURUNO 賞 | B クラス優勝 | 賞状 副賞 |

23 リスク・ステートメント

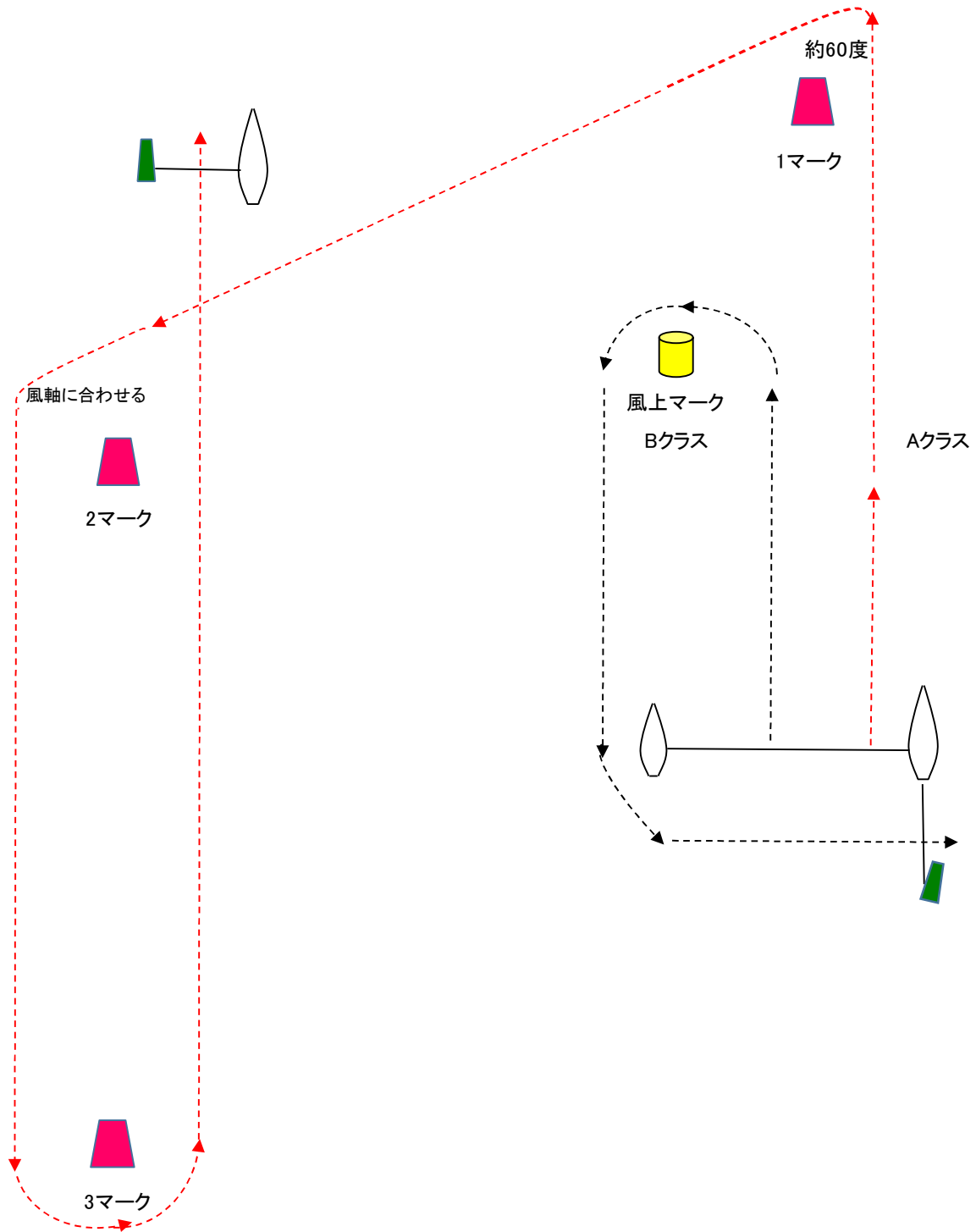
このレガッタの競技者、コーチサポートメンバーは自分自身の責任で参加する。

RRS 3 [レースすることの決定]参照。主催団体は、レガッタの前後、期間中に生じた物理的損害または人身障害、もしくは死亡によるいかなる責任も負わない。

【図A】

Aクラス： スタート - 1マーク - 2マーク - 3マーク - フィニッシュ （赤点線）
フィニッシュ・ラインはマーク2の風上、もしくは風下に設置する。

Bクラス： スタート - 風上マーク - スタートアウターマーク - フィニッシュ （黒点線）



添付図 1

